

本書の効果的な活用法

看護師国試に合格するには必修問題の8割を正解する必要があります。本書では出題傾向を徹底分析、頻出内容はもちろん、今後出題される可能性のある内容も網羅しています。確実に得点できるようにファイナルチェックしよう！

設問のテーマが一目瞭然

全問が「R5年版看護師国家試験出題基準」に準拠

厳選した360問を1~3ROUNDに分けて掲載しています。繰り返しチェックして合格しよう！

ROUND 1

問題 1 健康の定義 (WHO) ▶目標1 ▶大項目-1 ▶中項目-A

世界保健機関 (WHO) の定義では、健康とは、身体的にも、精神的にも、()にも調和のとれた状態にあることをいう。()に入るのはどれか。

1. 社会的
2. 基本的
3. 文化的
4. 経済的

問題 2 労働人口

日本における令和4年(2022年)

1. 40%
2. 50%
3. 60%
4. 70%

問題 3 世帯構造

日本の令和3年(2021年)の65歳以上の者の割合は、2022年(令和4年)の割合と最も近いのはどれか。

1. 20%
2. 30%

解説 1

▶正答 1

- 1 ○ WHOは、WHO憲章の前文で、健康を「**身体的にも、精神的にも、社会的にも**調和のとれた状態にあり、単に疾病または病弱でないということではない」と定義している。
- 2 × WHO憲章の前文では、上記に続けて、「到達しうる最高基準の健康を享有することは、人種、宗教、政治的信念または経済的もしくは社会的条件の差別なしに万人の有する**基本的権利**の一つである」とあるが、設問文に入る言葉としては適切でない。
- 3 × 設問文に入る言葉としては適切でない。日本国憲法第25条の**生存権**においては、「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とされている。
- 4 × 設問文に入る言葉としては適切でない。関連の規約である「**経済的、社会的及び文化的権利**に関する国際規約」(ILO)の第1条には、「**労働者**は、**労働**から**合理的に得る権利**、**社会保障**、**適切な生活水準**を享受する権利、**教育**を受け、**職業上の安全と健康**を確保する権利、**職業上の安全と健康**を確保する権利、**教育**を受け、**職業上の安全と健康**を確保する権利、**教育**を受け、**職業上の安全と健康**を確保する権利」と規定されている。

解説 2

▶正答 3

- 1 ×
- 2 × 労働力人口比率とは、**15歳以上人口における労働力人口の割合**をいう。労働力人口比率は、2022(令和4)年(71.4%)と、男性は71.4%
- 3 ○
- 4 ×

解説 3

▶正答 2

- 1 × 2021(令和3)年の65歳以上の者のいる世帯は**2,581万世帯**で、全世界の約半数(49.7%)である。長年増加傾向である。世帯構造別にみると、夫婦のみの世帯が825万世帯(65歳以上の者のいる全世界の32.0%)で最も多く、次いで単独世帯が743万世帯(同28.8%)、親と未婚の子のみの世帯が528万世帯(同20.5%)となっている。65歳以上の高齢者の単独世帯は、長年増加傾向である。
- 2 ○
- 3 ×
- 4 ×

選択肢ごとに○×の根拠を示し、わかりやすく簡潔に解説。きちんと読んで、学習事項の再確認をしましょう。

重要用語を赤で表記。ポイントをおさえて知識の確実な定着を！

正解できたらチェックボックスにチェックマークを付けます。チェックマークの付かなかったものはもう一度見直しましょう。

左ページに問題、右ページに解答・解説の見開きで見やすい構成。

2

3

※本書に掲載した統計調査等の数値は、一部を除き、厚生労働統計協会による「国民衛生の動向2023/2024」を参考にしております。